

必ず入稿用テンプレートを使用し、テクニカルガイドを読んでデータを作成してください。

入稿の流れ

① 商品を注文

入稿前に印刷通販デジタで商品のご注文を済ませてください。



② データを入稿

注文時に発行された注文No.に沿ってデータ入稿ページまたはマイページからご入稿ください。

注文No.はメールまたはマイページからご確認いただけます。



③ データチェック

入稿データ内に印刷や加工において問題となる箇所が発見された場合、スタッフは処理を一旦止め、お客様へ問題点のご報告と、修正方法のご案内を差し上げます。

データの確認などでご連絡が取れない場合にはデータチェックの完了が翌営業日以降となりますので、お早めのご入稿をお願いいたします。



④ 生産

製造中のデータ差し替えはできませんので、入稿時にデータに問題ないかよくご確認ください。

入稿データのチェックリスト

Illustrator

Photoshop

☐ 原寸で制作

お客様が制作されたサイズそのままで印刷いたしますので、必ず原寸(仕上がりサイズ)で制作してください。注文サイズと入稿サイズが違う場合、どちらが正しいサイズかが判断できません。

☐ .aiまたは.psdで保存してください

データチェックトラブルを防ぐため、Illustratorは.aiで、Photoshopは.psdの形式で保存してください。PDFやEPSなど、他形式の入稿には対応していません。

Illustrator

☐ 配置した画像は埋め込み

画像を配置している場合は、すべての画像を必ず「埋め込み」してください。「埋め込み」にするとIllustratorファイル自体に画像データが取り込まれるため、画像データを別でご入稿していただく必要はありません。

☐ 文字はすべてアウトライン化

入稿前にテキストを全てアウトライン化してください。レイヤーロックとオブジェクトのロックが解除されていることを確認し、全てのデータを選択してアウトラインを作成してください。

☐ PDF互換ファイルを作成にチェックを入れて保存

テンプレートデータは、保存オプション「PDF互換ファイルを作成」にチェックがついています。これはデータチェックの際に必要なですので、別名で保存する際にも外さないようにしてください。

入稿前に再度保存データを開いていただき正常に保存されているか確認をお願いします。

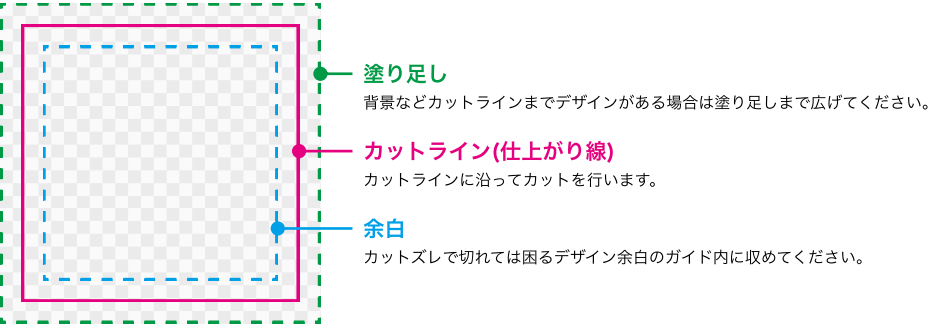
定形サイズ ワンタッチ底箱

必ず入稿用テンプレートを使用し、テクニカルガイドを読んでデータを作成してください。

テンプレートについて

データ作成前に注文サイズとテンプレートサイズが同じか確認してください。テンプレートのドキュメント情報や既存のレイヤー情報は変更しないでください。

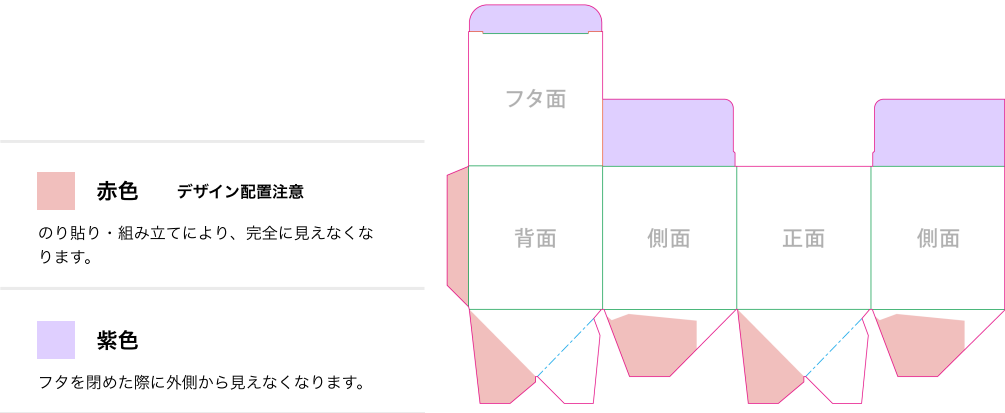
ガイド線について



データ作成のルール

印刷が隠れる箇所

下図で着色されている箇所は組み立て時に印刷が隠れてしまいます。隠れては困る文字やデザインの配置にはご注意ください。

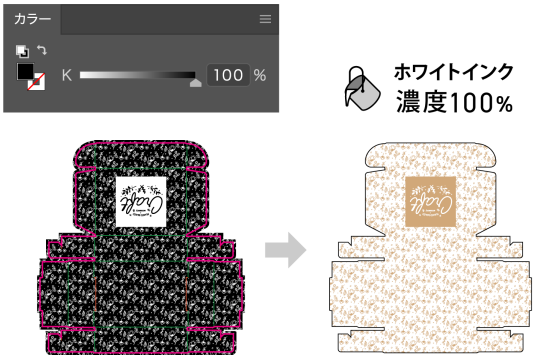


レイヤーについて

レイヤー名	説明
削除禁止	
展開図	選択したパッケージの展開図がここに表示されます。
デザイン	必須 デザインはデザインレイヤーに配置してください。
ホワイト	ホワイティンクを追加した場合のみ最下部にレイヤーを新規作成し、レイヤー名を「ホワイト」にしてください。 K(黒)で作成したデータを配置してください。

ホワイティンクはK(黒)で指定してください

ホワイティンクの印刷箇所は必ずK(黒)でご指定ください。
基本的には濃度100%を推奨していますが、ホワイティンクの濃度を調整する場合には、Kの濃度を設定してください。



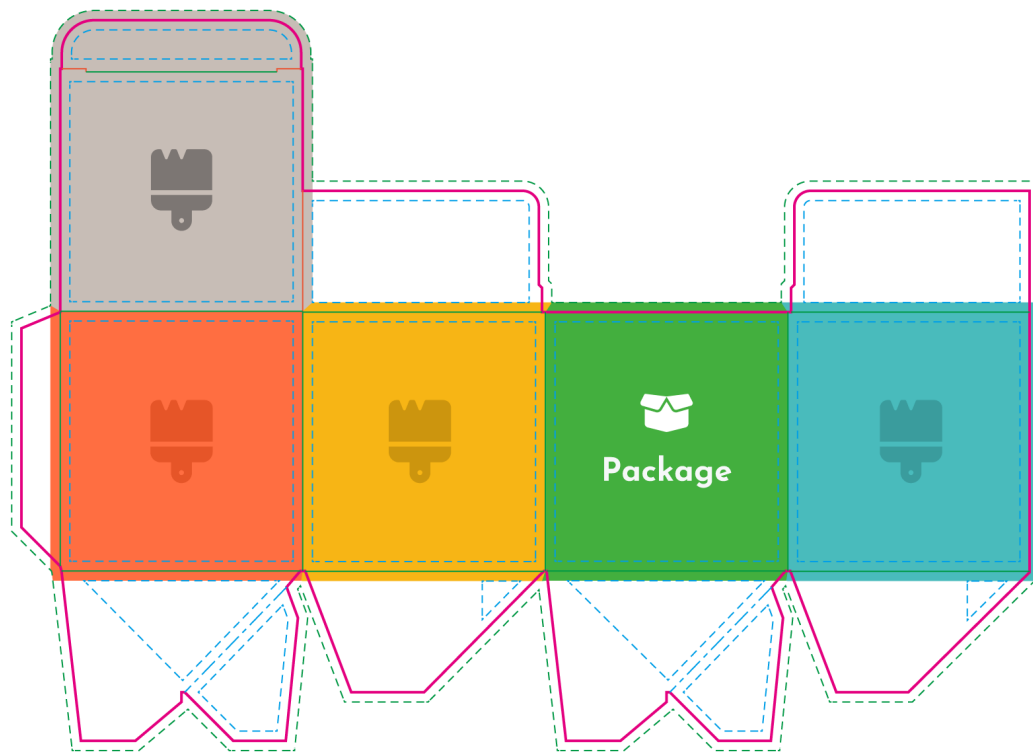
定形サイズ ワンタッチ底箱



必ず入稿用テンプレートを使用し、テクニカルガイドを読んでデータを作成してください。

参考イメージ

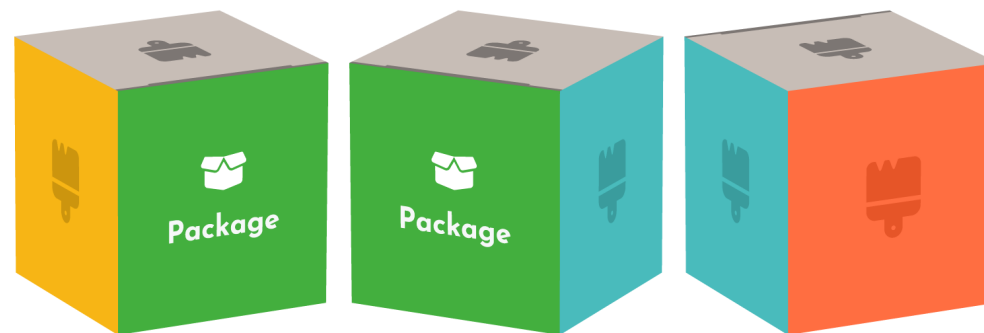
展開図の面は、組み立てた際に以下のイメージのように位置します。対応する面をよくご確認の上デザインを作成してください。




展開図



	正面(前面)	一般的にメインとなるデザイン面です。
	背面	正面の向かいに位置する面です。

組み立てイメージ



		側面	正面に向かって黄色が左側面、青色が右側面です。
<hr/>			
	フタ面(天面)	フタの面です。正面側に差し込み部分があります。	